

豆腐への支出

- 家計調査（二人以上の世帯）結果より -

皆様、今年の夏はいかがお過ごしでしょうか。暑い日が続くとなかなか食欲がわかない日もありますが、そんなとき冷たくて、体にもやさしく、食べやすいものの一つに豆腐があります。そこで、今月は豆腐への支出についてみてみましょう。

夏場に多い豆腐への支出

豆腐は、冷奴、味噌汁の具、いり豆腐、冬の鍋物や湯豆腐など季節ごとにさまざまな食べ方があります。そこで、月ごとの1世帯当たりの支出金額（平成16～18年平均）をみると、8月が621円と最も多く、次いで7月が617円と、夏場の支出が多くなっています（図1）。

豆腐への支出は世帯主の年齢とともに増加

次に、世帯主の年齢階級別に平成18年の1世帯当たりの年間支出金額をみると、世帯主の年齢が60～69歳の世帯が最も多くなっています。また、世帯人員1人当たりにしてみると、世帯主の年齢が高い世帯ほど多くなっており、世帯主の年齢が70歳以上の世帯では29歳以下の世帯の約3倍となっています（図2）。

豆腐への支出是那覇市が1位

最後に、年間支出金額（平成16～18年平均）を県庁所在市別にみると、1位是那覇市、2位は盛岡市となっています（図3）。

なお、1世帯当たりの年間購入頻度（平成16～18年平均）は、盛岡市が72回と最も多くなっています。

ちなみに、沖縄の豆腐は、島豆腐と呼ばれ、一般的な木綿豆腐より堅くてどっしり重く、1丁が1kgくらいあります。

図1 豆腐の月別支出金額（平成16～18年平均）

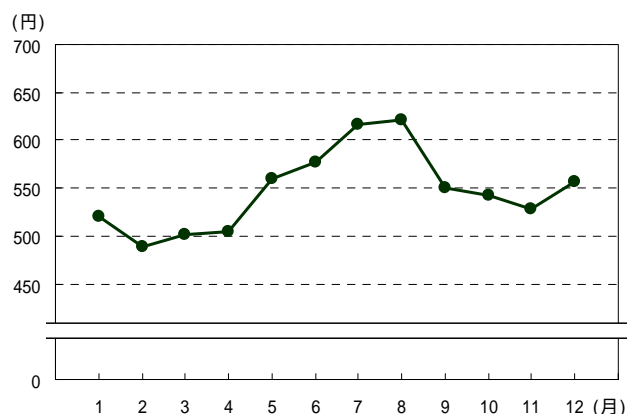


図2 豆腐の世帯主の年齢階級別支出金額（平成18年）

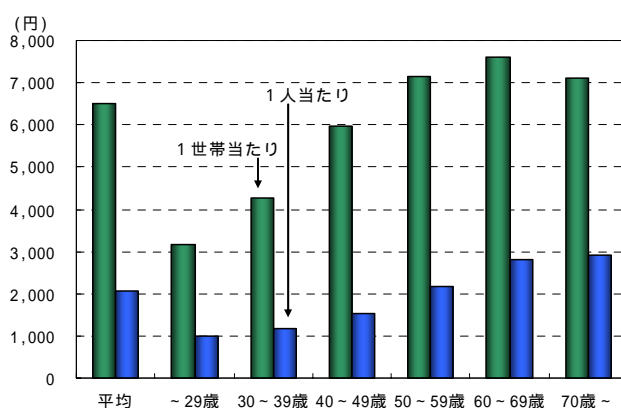


図3 豆腐の支出金額の県庁所在市別ランキング

（平成16～18年平均）

